



## MEDICA/COMPAMED 2014

### ファイナルレポート

## 医療機器メーカーは高まる世界的なニーズで利益を産み出す

### MEDICA/COMPAMED で輸出ビジネスに追い風

「参加いただいた海外ビジターの高い数は MEDICA,COMPAMED の出展者である医療機器メーカーや加工業者、サプライヤーにとり、輸出ビジネスの追い風となっていることを示しています。国境を越えたビジネスが抱える当該国の不透明なマーケットや安全状況に関する懸念など、両展の参加により容易にカバーされています」主催者メッセ・デュッセルドルフの取締役、シェーファーは 11 月 12 日～15 日の 4 日間に開催された世界最大の医療機器展、MEDICA を上記のように評した（同時開催の COMPAMED は 14 日までの 3 日間）。

4,831 の MEDICA 出展者、及び 724 の COMPAMED 出展者は約 130,000 名の今回のビジター（前回 2013 年:132,000 名）に対し、質の高い、またイノベティブな医療機器、医療製品などを商談目的に出展した。ビジターの約 84,000 人がドイツ以外、約 120 カ国からの来場であり、平均滞在日数は 2.2 日を数えた。出展者にとって重要となる投資、購買の意思決定権者の比率も高く、全体の 70%に達した。残り 10%も意思決定に関与する立場のビジターであり、MEDICA はこの点においてもトップ・スコアを記録した。



関連する業界団体からのレポートによれば MEDICA,COMPAMED が医療機器メーカー、サプライヤーの国際ビジネスにとって、いかに重要かがうかがえる。ドイツの医療機器関連メーカーの 85% が加入する BVMed（ドイツ メディカル・テクノロジー協会）によると、好調な輸出版売により年間売り上げは前年を上回る見通しとされている。同じくドイツの SPECTARIS（ドイツ・ハイテク産業協会）のメディカル・テクノロジー部門のトップは「今年、

加盟する 1,200 のドイツの医療機器関連メーカーの総売り上げは、国内以上に成長する海外市場に支えられ、初めて 250 億ユーロ（約 3.5 兆円）を超えると見えています。総売り上げに対する輸出比率も 68% を占めます」と述べ、併せて MEDICA,COMPAMED の重要性として「出展参加は自社製品の商談と自社のプレゼンス向上のために “must”」であることを強調した。

## 同時開催 COMPAMED は MEDICA の理想的な製品開発パートナー

例年通り MEDICA と同時開催となる COMPAMED は、初めて 700 を超える出展者を記録した。同展は医療機器、製品に必要なハイテクなソリューション、部材、加工技術を有する出展企業が、ホール 8a、8b にて、来場する 17,000 名弱のエンジニア、開発担当者らを対象に「製造」や「開発」に関する商談を行った。今回注目された点としては、将来的に医療機器を、より安価に、より安全で、より信頼できる製品とするための小型化されたコンポーネント、機能的な素材、直感的な制御装置、及び高精度のプロセスなどである。アプリケーションの事例としてはモバイルの分析、療法、及び制御装置を含み、ドレスデンのセラミックテクノロジーやシステムを専門とするフラウンホーファー研究所（Fraunhofer Institute for Ceramic Technologies and Systems IKTS）は、前立腺組織を分析するコンパクトな機器を出展した。同機器はレーザーパルスに基づく自動化された光学式分析により、90 秒ほどで癌の診断が可能であり、既に初回の臨床検査を首尾よく終え、今後、医師の診断を時間・コストの両面で容易にするものとして期待されている。



## 日本出展企業は出展者数のみならず代理店開拓や受注も増加

日本企業の出展者は今年、MEDICA,COMPAMED を合わせ [140 社](#)と、昨年の 126 社を上回る過去最高の出展者が参加し、各社ブースで商談や製品のプロモーションを行った（欧州からの日系現地法人出展は上記とは別に 28 社出展）。ジェトロや神戸市が今年もパビリオンを設置、COMPAMED では、ひたちなか市、長野県、大田区に加え、福島県、さいたま市などが新たにパビリオンを設置し、関連メーカー、



取引メーカーの出展や商談をサポートした。

ジェトロが設置したジャパン・パビリオン（写真左）には、海外への販路開拓を目指す 22 の日本の中小企業が出展参加し、技術力の高い日本製品をジャパン・ブランドと位置づけ、顧客・代理店開拓ための商談を行った。

同パビリオンに参加したエコー電気株式会社は「今年は CE マーキング取得済みで出展でき、具体的なドクターの使用のフィードバック約束も 25 件程あり、情報収集も含め昨年より充実した出展でした」とコメント。同じくフジデノロ株式会社は「初めての海外向けプロモーションだったが、自社商品の市場での位置づけや、今後の課題が見つかり、有意義だった」、株式会社 OLPASO は「代理店の発掘を始め、何社かの引き合いがあり大変満足した展示会でした」と海外市場開拓の場である MEDICA への出展を評価した。

神戸市のパビリオンには 7 社が参加したが、そのうち、継続出展の株式会社ハイレックスコーポレーションは「多くの方から興味を持って訪問していただきました。大変感謝しています。特に中東からの問い合わせが活発」とコメントした。

以下は単独で出展した MEDICA 日本出展企業のコメント。

＊「Visitor としても Exhibitor としても、有益で価値ある出展となり良かったです」

(株式会社 藤森工業)

＊「例年通りの客数だったが、継続出展の効果もあり、商談の質は上がった感触あり。成果としては上々」

(ローム株式会社)

＊「今回、ホール 4 に初めて出展しましたが、来場者も大変多く、またドイツ国内の商社と具体的な商談ができ、大変満足しています」(マイクロストーン株式会社)

＊「大成功！今後のビジネスに繋がる良いコンタクトが十二分に得られた」(商研 株式会社)

＊「当初、弊社は 3 年間の MEDICA 出展計画を立て、今年で計画の最終年となります。結果、ターゲットとしていた欧州市場を含め新規代理店が飛躍的に増え、成果の多い 3 年間でした」(ニチバン株式会社)

＊「欧州中心の取引先との商談機会が増えたこと、出展企業とのコラボ事業に進展有り。来年度、期待大きい」(株式会社エクセルエンジニアリング)

＊「新規顧客を多く獲得することができ、非常に大きな成果が得られた」(株式会社ヴォーパルテクノロジーズ)

COMPAMED に初めてパビリオンを設置した福島県（写真右）は「初出展でしたが、出展企業の皆様も“来場者の本気度”を感じており、大変満足いく結果となりました」とコメント。

同パビリオンに出展参加した有限会社エスクは「2011 年より MEDICA に出展、今年初めて COMPAMED に出展したが、客層が目的を持って来場しており、内容の濃い PR/商談ができたと思う」とコメント。製造・開発に特化した COMPAMED への評価が寄せられた。



以下は COMPAMED 日本出展企業のコメント。

＊「30 社以上の企業と接点を持つことができ、欧州企業の雰囲気を感じることができた」(株式会社ダイニチ)

＊「例年以上の反響があり有意義だった」(二九精密機械工業株式会社)

＊「商談に関してスムーズかつ内容の濃い打ち合わせを行えた。初めての出展でしたが、確実にビジネスに繋がる展示会と認識した」(有限会社エムワン精工)

＊「立地も良く、集客数は過去最高 53 件、技術者が多く、ターゲットとなる案件多い」(吉野川電線株式会社)

＊「4 回目の出展となるが、これまでにない成果が得られた。引き合い案件増加、出展者への PR」(株式会社 野上技研)

＊「集客が多い展示会ということが分かった。ビジネスの機会大きい」(京都試作ネット)

＊「来訪者が持ってきた案件は内容の濃いもので、実りのある Discussion ができました」(手島精管株式会社)

## 現地病院視察ツアーを実施

MEDICA 会期中の 11 月 14 日(金)、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンのサービス ALLIANCE メンバーである株式会社アイ・エム・アイが、デュッセルドルフ市内の聖ドミニクス病院にて病院視察ツアーを初めて実施した。当日は病院内の施設や設備の見学だけでなく、実際の医療への取り組みや退院に向けたサポート体制、院内の環境整備など、現場で働くスタッフから具体的な説明を受け、MEDICA に参加する日本人参加者と活発な質疑応答が行われた。

聖ドミニクス病院は、内科/循環器科・外科・耳鼻科・リハビリ施設等を有する病院で、視察では外来診察室・検査室、外科、入院病棟、リハビリ室、集中治療室、食堂、チャペルなどを順に見学。それぞれの場で医局長、広報、看護師、麻酔科医師、衣服担当者、理学療法士、ソーシャルワーカーから、受診の流れや現場の紹介、器具の実演と、非常にボリュームのある内容で、通訳者もドイツで看護師資格を持つ日本人が担当し、参加者は的確で専門性の高い説明を受けた。

日本の病院との相違点としては、診察を待たされることが無いため待合室は 4 畳ほどの小さなスペースのみで、参加者から驚きの声が上がった。また、入院病棟の廊下は穏やかなブルーを基調としたヒーリングカラーが取り入れられており、個室やスタッフの休憩室からはため息が漏れるほど美しいライン川の景色を見渡せ、さらにチャペルでは祈りを捧げられるなど、西洋医学で治療するという端的な観念ではなく、総括的な医療を展開しようとする病院側の姿勢が感じられた。



今回の現地病院視察ツアーは好評で、来年も開催予定(写真は集中治療病棟にて血液検査の実演を見学するツアー参加者)。

## 来年より MEDICA ,COMPAMED の開催曜日は月曜～木曜へ

両展は来年より月曜～木曜の 4 日間開催に変更となる。MEDICA は今年まで土曜日が含まれていたが、会期が全て平日になることで、出展者、ビジターにとってより有益な開催となることが期待される。来年の会期は以下の通り。

MEDICA : 2015 年 11 月 16 日 (月) ～19 日 (木) 4 日間開催

COMPAMED : 2015 年 11 月 16 日 (月) ～19 日 (木) 4 日間開催

公式サイト <http://www.medica.de> <http://www.compamed.de>

日本語サイト <http://medica.messe-dus.co.jp> <http://compamed.messe-dus.co.jp>

㈱メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：服部

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959 / [mdj@messe-dus.co.jp](mailto:mdj@messe-dus.co.jp) [www.messe-dus.co.jp](http://www.messe-dus.co.jp)